

令和7(2025)年度

金沢大学

Community learning "Future Design" Program

未来デザインプラクティス

～自分と未来は変えられる!～



学長と一緒に
参加!

報告書



目 次

プロジェクト（授業）概要	3
事前講義	4
地域での学び	16
プラクティス参加状況	17
プラクティス企画一覧	17
ご協力いただいた皆様	21

プロジェクト（授業）概要

○目的

令和 4（2022）年度から和田学長のもと実施しているプロジェクト（授業）です。学生は”Practice”（練習・実践）として、金沢大学の学生が参加できるプロジェクトやイベントを企画し提案することを主題とした授業に参加します。こうした各グループでのプロジェクトに若手担当職員も事前講義から参画してアイデアを出し合うというプロジェクトです。

《金沢大学 Web 版シラバスより》

令和 7（2025）年度共通教育科目「未来デザインプラクティス」（授業担当教員 国際日本研究教育センター 佐藤 智哉 准教授）

授業の主題

「自分と未来は変えられる！」

将来、皆さんは、地球温暖化などの全世界的な課題を解決するためのプロジェクトや、あるいは、地域をより良くするための様々な取り組みに参加することになります。自ら自分たちの”未来をデザイン”し、効果的なプロジェクトを企画し、チームのリーダーやメンバーに提案（プレゼン）し、様々な背景を持つ仲間とコミュニケーションを取りながら、その実現に向けて進んでいくというわけです。

この授業は、その”プラクティス”（練習・実践）として、金沢大学の学生が参加できるプロジェクトやイベントを企画し提案することを主題とします。具体的には、1 チーム 3～4 人の構成で 1 つの企画をまとめ上げ、その成果を学長が参加する報告会で発表することが主課題となります。

授業の目標

この授業では主に、以下の 5 つの能力を磨くことを目標とします。

- （1）独創的なアイデアを用いながらも、実行可能なプロジェクトを企画する能力
- （2）チームのメンバーと目的やアイデア共有しながらプロジェクトを推進するためのコミュニケーション能力
- （3）プロジェクトを魅力あるものとして提示するプレゼンテーション能力
- （4）チームにおける自身の役割を認識しながら、主体的にプロジェクトに関わっていく能力
- （5）プロジェクトの当事者でありながらも、その意義や重要性を第三者視点から俯瞰的に捉えることができる能力

授業の概要

この授業は、1 回のガイダンス、4 回の講義、プロジェクト報告会で構成されます（集中講義形式）。4 回の講義では、プロジェクトの立案・実施のために、グループワークを中心としたアクティビティを実施します。

事前講義

Future Design Practice 未来デザインプラクティス

～自分で未来は変えられる！～

“未来”を“デザイン”する“プラクティス（練習）”

自分の未来

X

地域の未来
日本の未来
世界の未来

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

未来デザインプラクティス 2

「未来デザインプラクティス」とは

授業を通して
金沢大学に関係する
プロジェクトを考える

➡

アウトカム

- 未来を変えようという意欲
- 未来を変えられるという自信
- 未来を変えたという経験

国旗プロジェクト

フォトコンテストプロジェクト

マイボトル普及プロジェクト

未来デザインプラクティス 3

金沢大学

- 源流は1862年に開設「加賀藩 彦三種痘所」
- 日本で3番目に古い歴史を持つ
- 学生数 = 10,785 留学生数 = 1,087

未来デザインプラクティス 4

どのようなプロジェクト・イベントにするか

金沢大学

- 「金沢大学って、こういう大学だね」
- 「金沢大学を、もっとこうしていきたいよね」

という、思い・気持ち・考えが、背景にあるようなプロジェクトやイベント

自分たちの大学は
自分たちでつくる

未来デザインプラクティス 5

これまでの実績 & 2024年度プロジェクト企画

- 2022年から開講 → 今年は4年目です
- これまで **105名の学生が参加** & **36個のプロジェクト**

復興、国際化、SDGs など

「留学ラジオ」

留学をもっと身近に、もっと楽しく、もっとわかりやすく。

留学をもっと身近に感じてもらうためにカジュアルな留学体験紹介イベントを開催する

プロジェクトの効果・目的

特色の違う大学に通う学生が意見交換、新たな視点・アイデア、大学の魅力をより伝えられる。

ブラッシュアップキャンパス

～学生主体の民間企業・大学関係プロジェクト～

石川県にある他大学と一緒に、大学の魅力を伝える動画作成やその合同鑑賞イベントを開催する

未来デザインプラクティス 6

2024年度のプロジェクト企画

バリアフリー
交流イベント
in 金沢大学

未来デザインプラクティス

目に見える障がい
・視覚
・聴覚
・身体障害

目に見えない障がい
・知的
・精神
・感覚機能
・気質

➤聴覚や視覚などの感覚が過剰に敏感な症状を持つ学生たちのキャンパスライフについて理解を深める

能登金沢こねくとかふえ

2024年度Q3 未来デザインプラクティス

プロジェクト
意義

➤大震災と復興により農業や水産業が大きな打撃を受けた
➤若い世代の食の魅力をもっと知りた

➤学業などでなかなかボランティアに参加できない学生が食を通して能登の産業に貢献する

能登写真展

プロジェクト実施の背景

地震や大雨に関する写真
能登の食の魅力を
知ってほしい！

➤能登地方の本来持つ素晴らしいさをもう一度思い出してもらえよう写真展を開催する

未来デザインプラクティス 7

プロジェクトの例（地球社会基盤学類2年生）

Kanazawa University
Earthquake
Disaster Survival Manual

1. Potential disasters that could occur in Kanazawa City

○The Morimoto-Togashi Fault Zone earthquake
Potential for Future Earthquakes
➤ Magnitude: Approximately 4.5 to 5.5
➤ Probability of Occurrence: 2% to 8% within the next 30 years
➤ Predicted Maximum Seismic Intensity: Seismic Intensity 4

○The Nankai Trough Earthquake
Potential for Future Earthquakes
➤ Magnitude: Approximately class M8 to M9
➤ Probability of Occurrence: 70% to 80% within the next 30 years
➤ Predicted Maximum Seismic Intensity: Seismic Intensity 5 (Lower)

2. Outline of this Manual

①Preparation before earthquake disaster
②Actions to take after an earthquake

①Preparation before earthquake disaster

If your home is damaged by a disaster, you will have to evacuate to a safe place and live as an evacuee. Pack a backpack in advance with items that you should take with you in an emergency so that you can take them with you at a moment's notice. Below is a checklist of items to take with you.

Emergency Kit
Items to bring during evacuation

☐ Water	☐ Work Gloves
☐ Food	☐ Toiletries
☐ Emergency Helmet / Disaster Hood	☐ Pen / Notebook
☐ Clothing / Underwear	
☐ Rainwear	
☐ Slip-on Shoes	
☐ Flashlight	
☐ Portable Radio (Manual charging type is convenient)	
☐ Spare Batteries / Mobile Charger	
☐ Matches / Candles	
☐ First Aid Kit	
☐ Disposable Hand Warmers	
☐ Blanket	

Also Useful for Infection Prevention!!

☐ Masks
☐ Hand Sanitizer
☐ Soap / Hand Soap
☐ Thermometer
☐ Wet Wipes

Remember to Bring These as Well!!

☐ Valuables
(cash, passport, driver's license, health insurance card, My Number card, etc.)

未来デザインプラクティス 8

プロジェクトの例（地球社会基盤学類2年生）

EARTHQUAKE PREPAREDNESS AND EVACUATION MANUAL

➤ Japan is one of the most earthquake-prone countries.
➤ Being prepared in advance is crucial for responding effectively during a disaster.

KANAZAWA UNIVERSITY

プロジェクトの例（地球社会基盤学類2年生）

EMERGENCY EVACUATION KIT CHECKLIST

PREPARATION

➤ If an earthquake affects your home or dormitory, you may need to evacuate to a safe location and live under emergency conditions.
➤ Prepare a backpack or emergency kit in advance so that you can grab it quickly when necessary.

EMERGENCY EVACUATION KIT

Essential Items for Emergency Evacuation

☐ Water	☐ First Aid Kit	☐ Infection Control Supplies
☐ Food (canned goods, biscuits, dried bread, etc.)	☐ Disposable hand warmers	☐ Face masks
☐ Clothing and underwear	☐ Work gloves	☐ Hand sanitizer
☐ Rain gear	☐ Toiletries (toothbrush, toothpaste, soap, etc.)	☐ Soap (bar or liquid)
☐ Slip-on shoes or shoes without laces	☐ Towels	☐ Disinfecting wipes
☐ Flashlight (battery-powered or hand-cranked)	☐ Matches and candles	
☐ Portable radio (battery-powered or hand-cranked)	☐ Emergency helmet	
☐ Spare batteries / mobile charger	☐ Pen and notebook	

Don't Forget These Essentials!

☐ Valuables
(Passbooks, Cash, Passport, Driver's license, Health insurance card, My Number card, etc.)

RESPONSE

EVACUATION

授業のスローガン

Future Design Practice

未来デザインプラクティス

～自分と未来は変えられる！～

未来デザインプラクティス 11

授業スケジュール（講義2日間⇒企画発表会）

24日

しいのき迎賓館

【講義1】

気づく

➤「金沢大学はどんな大学？」
➤プロジェクトの種はすでにキャンパスにある！

25日

金沢歌劇座

【講義4】

形る

➤商品の“パッケージ”は重要
➤プレゼン資料の構成（効果的な発表とは）

【講義2】

練る

➤プロジェクトのアイデアを出し合う
➤それぞれのアイデアを検討・吟味する

【講義3】

創る

➤商品（アイデア）“を”どのように売り込むか
➤“お客様”の気持ちを想像する

7月20日

企画発表会

未来デザインプラクティス 12

企画発表会

> 日時 → 7月20日（日）
 > 場所 → コンセールのと
 > 学長と理事の前で
 プロジェクト企画を発表します



現状？

13

Future Design Practice

未来デザインプラクティス

～自分と未来は変えられる！～

1日目

2025年 5月24日

ゴール設定

01 1日目（5月24日）
↳ プロジェクトのアイデアを、1～2つにまとめる

02 2日目（5月25日）
↳ 80%完成したプロジェクトのスライドを作成

03 企画発表会（7月20日）
↳ 100%完成したプロジェクトのスライドを作成

7分間で発表

1日目 未来デザインプラクティス 15

1日目の流れ

01 1日目（5月24日）
↳ プロジェクトのアイデアを、1～2つにまとめる

1. 個人でアイデアを考える
2. グループを作成する
3. グループでアイデアを共有する
4. グループでアイデアを検討する

1日目 未来デザインプラクティス 16

まずは 自分のアイデアを 考えてみましょう

1日目 未来デザインプラクティス 17

プロジェクトのファーストステップ

プロジェクトの素案を考える

- 細かい点は気にしない
- 携帯で調べてもよし

アイデアの源泉の例

- 「ナントカならないもんかな」 -
- 世界の課題、地域の課題
- 本路には、石川県にはどんな課題があるか？
- Yeah, I am the best on Earth! -
- 自分の強みを活かす！
- 専門分野
- 趣味特技
- 好きなことモノ

大原則
プロジェクトには
"正解"はない

頭の片隅に

- > 「金沢大学って、こういう大学だよな」
- > 「金沢大学を、もっとこうしていきたいよね」

という、思い・気持ち・考えが、背景にあるようなプロジェクトやイベント

- Our university, Our home -

□ 金沢大学のこと

プロジェクトの種類はすでにキャンパスにある！

未来 → 10年後の金沢大学
→ “未来”から“今”をみる
疑問 → “なぜこうなってるの”
→ “なぜこうじゃないの”
いつもの場所 → なんか違和感
→ “ラク”したい！

自分ができることは、みんなが思っている事がもしれなし、自分が当たり前だと思っても、他の人には、当たり前じゃないかもしれない

1日目 未来デザインプラクティス 18

2022年のプロジェクト

グループA	グループB	グループC
ミッション×バトル 「Janssens University Experience solving tour」 として「QUEST」	フラワーアート	Food Day Project
キャンパス内の色々な場所を ミッションで巡る	制作 ポット画を準備し、 見えるコートを着て	プロジェクト 内容 金沢大学の様々な施設を 活用し、学生が主体的に 参加できるイベントを 開催する
➢ 地域の方々や近隣の小学校の生徒 などに大学を開放し、様々な活動 を通して交流をはかる	➢ 金沢大学の広大な敷地を活用して フラワーアートを作成し、人々の 交流を促進し大学を活性化させる	➢ 移動販売形式で様々な飲食店を 誘致し、学生の食生活の充実や キャンパスの活性化につなげる
1日目	未来デザインプラクティス	19

2022年のプロジェクト

グループD	グループE	グループF
留学生と 料理を作る!!	International Sweets Week	金大より多くの留学生を!!
交流 例えば、料理を作ることで 文化を学ぶ	留学生と一緒に彼らの 祖国のお菓子をつくって、 文化に触れ、学生同士が 交流できる あまーいイベント!	内容2 アキャンササインターフェイスに 国旗を飾り付ける 今まで金沢大学に学びに来た学生の 国旗の国旗
➢ 海外に対する関心や友達作りを目的 として、留学生と世界各国の料理 を作る異文化交流会を開催する	➢ 留学生と一緒にお菓子を作るイベント を開催し、多様な背景を持つ 生徒同士の交流機会を増やす	➢ 国際性が現実にもわかるように 国旗を飾り付け、留学生が暖かな 気持ちで過ごせる環境を作る
1日目	未来デザインプラクティス	20

2022年のプロジェクト例

グループA	グループB	グループC
朝活WEEK	一緒に遊ぼう! ふれあい広場 in 宝町	アンブレラカイ
プロジェクトの内容 プロジェクトの内容	大学生×小学生	プロジェクトの内容
➢ 朝の活動を習慣化するためのきっかけ として、地帯などを無料で提供 するイベントを開催する	➢ 宝町付近の小学生や留学生などの 交流イベントを開催し、地域の 人々の交流をはかる	➢ 雨が多い金沢において、忘れ物の 傘をアート作品として飾り付ける ことでキャンパスを活性化させる
1日目	未来デザインプラクティス	21

2022年のプロジェクト例

グループD	グループE	グループF
Nighting Project at 金沢大学	私たちが考えたプロジェクト 「生徒の授業」	プロジェクト 「マッチングサービス」
プロジェクトの内容	具体的な提案	マッチングプロジェクト
➢ 仮眠スペースを設置し、空きコマ などで活用してもらい、学生がより 授業に集中できる環境を作る	➢ 学生が自身の専門分野を教えるイベント を開催し、学生同士の知識 の融合を促進する	➢ アプリを使ったマッチングサービス を開発し、学際性や異文化間の 学生交流機会を増やす
1日目	未来デザインプラクティス	22

2022年のプロジェクト例

グループA	グループB	グループC
学域横断型 クリエイティブワークショップ	ザツダン の場をつくる!	金沢大学の バリアフリー 促進
企画の概要	学域を越えてつながる「ザツダン」の場	3. バリアフリーな大学に
➢ 多様な価値観を持つ学生が集まり 共同で作品を作るワークショップ 形式のイベントを開催する	➢ 若手職員の方や学長とのザツダン イベントを開催し、学域や教職員 の枠を超えたつながりを出す	➢ 心と身体のバリアフリーの理解を 深めることを目的としたワーク ショップイベントを開催する
1日目	未来デザインプラクティス	23

国旗プロジェクト

1日目

未来デザインプラクティス

24

2023年のプロジェクト例

グループA



金大
マイボトル普及大作戦

グループB



みるみるグローバルプロジェクト
～金沢大学の多様性を可視化し、出会い・繋がりをつくるプロジェクト～

【見る（観る）】×【みる（見る）】
 ・金沢大学の多様性を可視化し、出会い・繋がりをつくる
 ・金沢大学の多様性を可視化し、出会い・繋がりをつくる
 ・金沢大学の多様性を可視化し、出会い・繋がりをつくる

グループC



G7
～グルメセブーン～

マイボトル普及大作戦とは？



金沢大学で一日だけ
マイボトルを義務化する
活動です。

プロジェクト概要

世界地図 + 金沢県 + オープンチャット



可視化 出会い 繋がり

G7とは



料理体験・文化交流
～互恵を創出する～

名前の由来は、2023年のG7の教育大臣会合が
金沢大学で行われたこと

ただ話すだけでなく仲良くする？
一緒に作業をして一緒にご飯を食べることで
一緒に達成感味わえる！

➤ 環境を考えプラスチック資源の削減を目的として、マイボトルの活用を普及させる

➤ 様々なバックグラウンドをもつ金沢大学学生の多様性を可視化して、出会い・繋がりを作る機会を作る

➤ 留学生と日本人学生が、自国の料理を作りながら、そして一緒に食べながら、文化交流をはかる

1日目

未来デザインプラクティス

2日目

2023年のプロジェクト例

グループA

ちっとな CHAT!

大学内の「大人」と
ザツダンする機会を作りたい
学生と教職員がらんとお顔をすイベントの企画

心算で大学で学んだ人々が100年後にどんな顔で迎えているか
（未来の自分と対峙する）

グループB

あきけん

空き教室検索機能

電子掲示板

あきけん

金沢大学アプリ
に導入

グループC

100年後も輝く
金沢大学

プロジェクトの全体像

フォトリポート
「未来の自分」にまつて、金沢大学に縁のある写真
を募集するフォトリポートを開催する。

↓

フォトリポート
フォトリポートで集まった写真を活用して、大きな一枚
のフォトモンタージュを作成し、展示する。

➢ 学生と教職員が同じ目線にたつて
ザツダン形式で意見を交換する
交流会を開催する

➢ キャンパス内で使用していない教室
を学生たちに開放し、勉強や交流
などに活用してもらう

➢ 100年後にも輝いているような
金沢大学の姿をテーマにフォト
コンテストを開催する

2023年のプロジェクト例

グループD

イルミネーション
世界で
光り輝く金沢大学へ！

金大を"明るく"!!

物理的な明るさ + 心の明るさ

冬季期間に、物理的な明るさと心の明るさを目的としたイルミネーションイベントを開催する

グループE

ナイデアソン

アイデアソンとは
毎年秋から春まで開催している、オンラインストーリーマップを用いた、各大学のアイデアを募集するイベント。
「アイデアソン」は「アイデア」を募集するイベント。
金大では、

金大にあるコースを題材 → グループごとにブレスト → 発表するアイデアを模試

イノベーションを起こしやすい環境づくりのためにブレインストーミングをマラソンのように行う

グループF

金大ランチスタンプラリー

ランチャイロのスタンプラリー

スタンプを全部以上集めて、特典をもらう!!

開催期間：10月18日～11月17日（全6回開催）

キャンパス内にある学食スペースの認知度を上げるためにスタンプラリーを開催する

2023年プロジェクト例

グループA

学食メニューの予約制

- メサット①: 並ばない
- メサット②: 順番に食べられる
- メサット③: 学食の確保

グループB

夜活WEEK

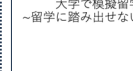
- 夜活メニュー: 10月10日(水)～10月14日(日)
- 夜活メニュー: 10月15日(月)～10月19日(金)
- 夜活メニュー: 10月20日(土)～10月24日(火)
- 夜活メニュー: 10月25日(水)～10月29日(日)
- 夜活メニュー: 10月30日(月)～11月3日(金)
- 夜活メニュー: 11月4日(土)～11月8日(水)
- 夜活メニュー: 11月9日(木)～11月13日(日)
- 夜活メニュー: 11月14日(月)～11月18日(金)
- 夜活メニュー: 11月19日(土)～11月23日(水)
- 夜活メニュー: 11月24日(木)～11月28日(日)
- 夜活メニュー: 11月29日(月)～12月3日(金)
- 夜活メニュー: 12月4日(土)～12月8日(水)
- 夜活メニュー: 12月9日(木)～12月13日(日)
- 夜活メニュー: 12月14日(月)～12月18日(金)
- 夜活メニュー: 12月19日(土)～12月23日(水)
- 夜活メニュー: 12月24日(木)～12月28日(日)
- 夜活メニュー: 12月29日(月)～12月31日(水)

グループC

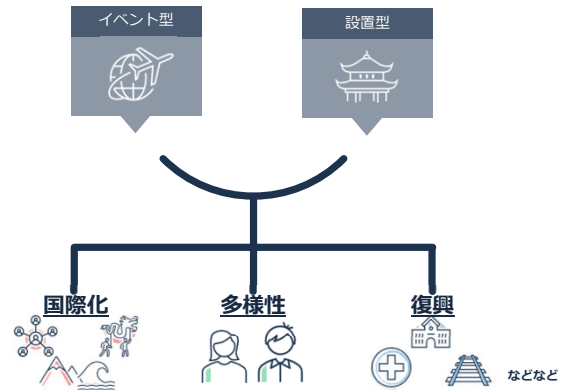
パラソル付きテラス!

この企画はつまり、食事や勉強、友人との会話などのためのパラソル付きテラス席を制作したい!

自然に囲まれたキャンパスの外で友達と時間を過ごせるようにパラソル付きテラスを設置する

2024年のプロジェクト例		
グループD  地下通路の 国際メイクアップ	グループE  大学で模擬留学体験 ~留学に踏み出せないあなたと~	グループF  金大ダango
グループG  プロジェクト 写真	グループH  留学生にホームステイ体験の意義・効果	グループI  プロジェクト内容

[illegible]



【 アイデアシート 】

➤ 学類 _____

➤ 氏名 _____

The diagram consists of four identical rectangular boxes arranged in a 2x2 grid. Each box is designed for brainstorming a specific idea. At the top of each box, there is a label 'アイデア1', 'アイデア2', 'アイデア3', or 'アイデア4' (Idea 1 through Idea 4). On the left side of each box, there is a label 'プロジェクト名' (Project Name). A curved arrow points from the 'プロジェクト名' label towards the center of the box, and another curved arrow points from the top label towards the center. This layout suggests a process where one first identifies a project name and then brainstorms ideas related to it.

【 アイデアシート 】

アイディア1

プロジェクト案

じっくり書こうと

国旗プロジェクト

アイディア2

プロジェクト案

じっくり書こうと

アイディア4

例

細かいことは、一旦おいといて

- ・「どのくらいのサイズの国旗を飾るの？」
- ・「留学生の出身国は何かあるの？」
- ・「国旗を購入するのにいくらぐらいかかるの？」

アカンサスの通路に、留学生の出身国の国旗を飾る。

金沢大学をもっと国際性・多様性があふれる大学にしたい。

私の経験から



“モノ”になるのは少数

カタチもどんどん変化する

グループ分け

グループでアイデアをシェアしてみましょう

まずは自己紹介！

ここまでで、第1講義は終わり

➤ あらかじめ、プロジェクトを企画してきていてどうしてもそれをやりたいという場合は別アイデアとして実施します

未来デザインプラクティス

37

1日目の流れ

01 1日目 (5月24日)

プロジェクトのアイデアを、1～2つにまとめる

1. 個人でアイデアを考える
2. グループを作成する
3. グループでアイデアを共有する
4. グループでアイデアを検討する

1日目

未来デザインプラクティス

38

そうは言っても

1つに絞るのは難しい

ですよね・・・

せっかく思いついたアイデアを捨てるのはもったいない！

1日目

未来デザインプラクティス

39

“お客様”の観点から考える

そのプロジェクトを実施したら金沢大学はどのように変わるのだろうか

そのプロジェクトはどのような点が優れていると評価されるか



そのプロジェクトに参加した人たちはどのような気分になるか

そのプロジェクトに参加した人たちの人生はどのように変わるのだろうか

1日目

未来デザインプラクティス

40

新しいアイデア = 既存のアイデアの組み合わせ



1日目

未来デザインプラクティス

41

新しいアイデア = “味変”

昨年の学生のアイデア

自分たちのアイデア

新しいアイデア

例えば



1日目

未来デザインプラクティス

42

これまでの経験から・・・

「生協の長い行列をなんとかしたい」



改善には時間がかかります

1日目

未来デザインプラクティス

43

自分のモード

1日目

未来デザインプラクティス

44

モード1 = 陽キャな教員



- 知り合いたくさん!
- ポジティブ!



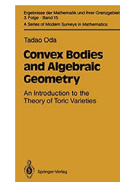
1日目

未来デザインプラクティス

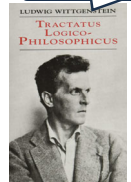
45

モード2 = 一人が好き

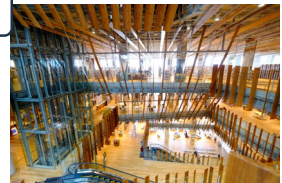
山形生まれの
素朴な青年



部屋から出ない
学問分野



美術館へは
平日に一人で



1日目

未来デザインプラクティス

46

モード3 = 肉食系 “ガンガンいこうぜ”

“金沢の佐藤”



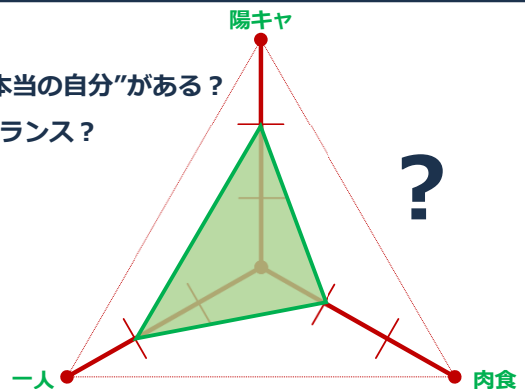
1日目

未来デザインプラクティス

47

どれが本当の佐藤さんですか？

- “本当の自分”がある？
- バランス？



1日目

未来デザインプラクティス

48

感覚的には

全部が“佐藤智哉”で
時と場合によって
OSを入れ替える感じ

1日目

未来デザインプラクティス

49

プロジェクトの一員のと看は
どのOSを使うか？

1日目

未来デザインプラクティス

50

グループメンバーのうち一人は
パソコンを持ててきてください

1日目

未来デザインプラクティス

51

Future Design Practice
未来デザインプラクティス
～自分と未来は変えられる！～

2日目

2025年 5月25日

ゴール設定

01 1日目（5月24日）

↳ プロジェクトのアイデアを、1～2つにまとめる

02 2日目（5月25日）

↳ 80%完成したプロジェクトのスライドを作成

03 企画発表会（7月20日）

↳ 100%完成したプロジェクトのスライドを作成

7分間で発表

2日目

未来デザインプラクティス

53

今日の課題

1. アイデアを1つに決める
2. プレゼンのスライドの構成を考える
3. プレゼンのスライドを作成していく

目標は80%!

2日目

未来デザインプラクティス

54

6月20日（金）- 赤子の課題
プロジェクトのPPTスライド（完成版）を作成し提出する

ゴール 関係or作成者がメールで私に提出する
（添付ファイル）

➢ 締め切り ⇒ 6月20日（金） 13:00

➢ satotomoya@staff.kanazawa-u.ac.jp
satotomoya@gmail.com

メールの
タイトル

例えば、こんにちは

（課題提出）『未来デザインプラクティス』

佐藤先生

グループXの連絡係の石川太郎です。
私たちのプロジェクトの発表スライドを
このメールに添付いたしました。

ご確認をよろしくお願いいたします。

2日目 未来デザインプラクティス 55

もう一度 → “お客様”の観点から考える

そのプロジェクトを実施したら
金沢大学はどのように
変わるのだろうか

そのプロジェクトは
どのような点が優れていると
評価されるか

そのプロジェクトに
参加した人たちは
どのような気分になるか

そのプロジェクトに
参加した人たちの人生は
どのように変わるのだろうか

2日目 未来デザインプラクティス 56

内容を検討して

プロジェクトを1つに
決めましょう

2日目 未来デザインプラクティス 57

スライドの設計図を作る

2日目 未来デザインプラクティス 58

スライドの設計図とは

スライド1枚目：表紙

このスライドの目的 ⇒

➢ プロジェクトのタイトルと伝える

➢ 写真をつかって、プロジェクトのイメージを伝える

2日目 未来デザインプラクティス 59

スライドの設計図とは

スライド2枚目：プロジェクトの背景

このスライドの目的 ⇒

➢ なぜこのプロジェクトを実施しようと思ったのか伝える

➢ どのようにこのプロジェクトを思いついたのか伝える

2日目 未来デザインプラクティス 60

スライドの設計図とは

スライド3枚目：プロジェクトの内容

このスライドの目的 ⇒

- このプロジェクトはどのようなプロジェクトなのか伝える
- このプロジェクトに誰が参加するのか伝える

2日目 未来デザインプラクティス 61

スライドの設計図とは

スライド4枚目：プロジェクトの効果

このスライドの目的 ⇒

- このプロジェクトを実施するとどのような効果が得られるのか
- このプロジェクトの参加者はどのように変わるのか

2日目 未来デザインプラクティス 62

スライドの設計図とは

スライド5枚目：プロジェクトのプロセス・リソース

このスライドの目的 ⇒

- このプロジェクトをどのようなスケジュールで進めていくのか
- このプロジェクトにはどのくらいの人員・資金が必要なのか

2日目 未来デザインプラクティス 63

スライドの設計図とは

スライド6枚目

スライド7枚目

7分の発表用のスライド

- スライドの枚数は自分たちのグループの発表にあわせて自由（5～10枚くらい）
- スライドの順番・構成も自由
- 現時点での案を作成。後から、変更してもよい
- 最終的に、pptx or PDF として提出

2日目 未来デザインプラクティス 64

発表の中で伝えることの例

プロジェクトの背景

プロジェクトの内容

プロジェクトの目的

プロジェクトの効果

プロジェクトのプロセス・リソース

この通りでもこの通りでなくても構いません

ストーリー部分、できる限りポジティブに金沢大学のイメージ

初めて聞いた人でもイメージできるように

こういう目的 ⇒ こういうプロジェクトとつながるように

何人が参加するのか、参加した人はどう思うか金沢大学にどのような影響があるのか

- いつプロジェクトを実施するのか
- プロジェクトを実施までの準備計画
- 誰が準備するのか
- 誰のサポートが必要なのか
- どのくらい予算はかかるのか

表明可能性を示す！

2日目 未来デザインプラクティス 65

サポートが必要なときは
早めに相談

こういことって、できますか
こういことって、わかりますか

こういことって、調べられますか

私、学生サポーター、or 職員の方に相談

2日目 未来デザインプラクティス 66

6月20日（金）までの課題

ゴール

- プロジェクトのPPTスライド（完成版）を作成し提出する
- グループの連絡係or作成者がメールで私に提出する（添付ファイル）
- 締め切り ⇒ 6月20日（金） 13:00
- catotomoya@staff.kanazawa-u.ac.jp

メールの
タイトル

例えば、こんな感じ

（課題提出）『未来デザインプラクティス』

佐藤先生

グループXの連絡係の石川太郎です。
私たちのプロジェクトの発表スライドを
このメールに添付いたしました。

ご確認をよろしくお願いいたします。

企画発表会当日スケジュール

■ 7月20日（日）【能登町】

7:45～	参加者集合 ※各乗り場集合時間は p4 へ
8:00～ (学生迎え)	8:00 事務局前出発（大型バス2台） →8:05 若松乗車 （酒のやまや側のバス停付近：V ドラッグもりの里店向かい） →8:07 旭町乗車 （ファミリーマート金沢旭町三丁目店側歩道：金沢メモリアルホールアネックス向かい） ※途中、高松 SA、西山 PA でトイレ休憩をとります。
8:40	高松 SA 到着 10 分休憩 ※香林坊組と合流
(バス車内)	学生・参加教職員の自己紹介等
10:50	コンセールのと（能登町） 着
11:00	能登町教育長によるご講義 45 分
11:45	昼食（職員によるランチョンセミナー） 45 分
12:30	学生企画発表（各チーム：発表 7 分）
14:30	発表内容の審査 10 分間 ※学生は休憩時間
14:40	講評 ※表彰は後日
14:50	学長によるご講義 60 分
15:50	集合写真撮影
16:00	コンセールのと 発
(バス車内)	学生・参加教職員による感想発表等
18:00	高松 SA 到着 10 分休憩 ※香林坊組は別車両に乗車
18:50 頃	→旭町降車 →若松降車 →金沢大学事務局前玄関降車 ※それぞれ下車時点で解散

○プラクティス参加状況

＜最終発表時参加人数＞

実施日	実施場所	学生 人数	教職員 人数	合計
7月 20日（日）	能登町	41	20	61

○プラクティス企画一覧

企 画
金沢大学キャンパス案内：錯視サインプロジェクト
金沢大学に「和」をもっと
KANAZAWA Welcome Tour ～不安を fun に～
“みんな”の金沢大学の歩き方:RAIN
中×大カフェ
金沢大学V l o g プロジェクト
CoCo プロジェクト ～地域に貢献する金大生～
仮眠環境の導入 ハンモック導入による効果の検証
宿泊型のオープンキャンパスで高校生に金沢大学の魅力を発信
アートギャラリー

金沢大学キャンパス案内: 錯視サインプロジェクト

プロジェクトの目的と目標

歩きたくなる道路づくり

学生や来訪者が楽しく歩ける、魅力的で
写真映える道路を創造。キャンパスを
歩く楽しさを演出し、回遊性を向上。

スムーズな移動の実現

錯視サインで距離を分かりやすく表示
し、学内移動を円滑化。視覚的な案内
で、誰でも迷わず目的地へ。

金沢大学のグローバル化

多言語対応のサインを導入し、留学生や
外国籍教員に配慮。誰でも快適にキャン
パスを利用できる環境を整備。

金沢大学に「和」をもっと

Cグループ

地球社会基盤学類 三年 中田賢規

法学類 一年 国京明日香

保健学類 一年 船山菜々子

法学類 一年 奥田壮紀

KUEPプログラム 三年 フラー・ミリー

プロジェクト内容

風鈴を地下通路につるそう！

・案1 風鈴を大量に発注してつるす

・案2 「かなざわ風鈴」をみんなで手作りしつるす



KANAZAWA Welcome Tour

～不安をfunに～

Dグループ

2年 総合学域 三尾 昂幸
1年 理工学域 田中 倫寛
1年 人間社会学域 松野 凛花
1年 人間社会学域 中橋 一規

具体的な内容

対象

9月ごろに来日する
留学生

規模

○先導者 2名
○参加者 4名

6人程度のグループに分かれて観光地を回る
先導者、参加者計24名程度を予定

移動手段

大学のシャトルバス

実施日程

10月ごろ

"みんな"の金沢大学の歩き方:RAIN

グループE

Techaboonyawat Nuttawin

李奕霆 (リー・イティン)

山田めぐり

宇波飛翔

三佐あおい

そのため、

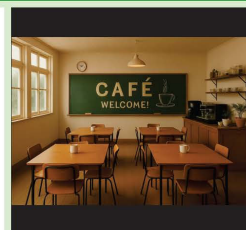
**私達は金沢大学構内で
「誰でも/不自由なく/濡れずに」
移動することを可能とする
プロジェクトを提案します！**

中×大カフェ

田中悠 牛木悠人 山中朝陽 宮本愛子 小池里和
《グループF》

概要： 中学校で仮設カフェをオープン

- ・ 放課後の時間を活用
- ・ 大学生が店員として交流
- ・ ターゲットは中学2年生
- ・ メニューはすべて無料



[SLIDE]

金沢大学Vlogプロジェクト

未来デザインプラクティス G班
2025年7月20日

Vlogとは...?

⇒自身の日常生活などを動画形式で伝えること(VideoBlogの略称)

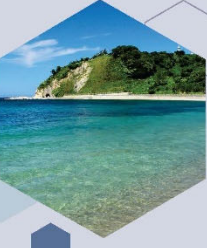
文字ではなく動画なので、
臨場感が出て状況や内容が
伝わりやすい!



CoCoプロジェクト

～地域に貢献する金大生～

岡野幸太郎
岡村尚岡
越山実和
池原健晃
鈴木市太郎



プロジェクト概要

STEP1 能登の企業と金沢大学を繋ぐ

STEP2 能登の企業と石川県内の企業を繋ぐ

STEP3 能登の“いいもの”を北信越地域に広める



金沢大学
未来デザインプラクティス グループI

仮眠環境の導入

ハンモック導入による効果の検証

2025/07/20 山岸翔梧, 内藤我歩, 大矢史一, 小川由莉乃, 岡本侑士

06 実現後の姿

最終的なゴール

ハンモックの導入による
眠気・疲労感の軽減

学習効率の向上

学修・研究力の底上げ

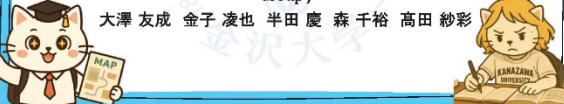
活気ある金沢大学の実現



Welcome to Kanazawa University!!

宿泊型のオープンキャンパスで
高校生に
金沢大学の魅力を発信

Group J
大澤 友成 金子 凌也 半田 慶 森 千裕 高田 紗彩



プロジェクトの内容

Group J

宿泊型のオープンキャンパス

参加申し込み

機会提供+資金援助

高校生(10人/回)

金沢大学

- 金沢大学ゲストハウスを宿泊先に利用
- 毎年度、春休み・夏休み期間に開催
- 学域ごとに開催
- 第一回は総合学域志望の生徒を対象に試験運用



STEAM ART GALLERY



KU Art Gallery

NAGUMI IMAKADO
YUTARO KIKUCHI

Art in Lifeギャラリーの特徴

①	ホスピタルアート・テーマやストーリーがある
②	芸術思考＝他者や社会に貢献しようとする意志の元で何かを創り出す
③	STEAM教育(特にアート)
④	研究との接続・新たな領域の実践研究

共通教育科目「未来デザインプラクティス」の企画発表会を能登で実施

7月20日、共通教育科目「未来デザインプラクティス」の企画発表会が石川県能登町で行われ、学生・教職員ら約60名が参加しました。

この科目は、「自分と未来は変えられる！」をテーマに、令和4年度からスタートしたものです。自分たちの“未来をデザイン”し、さまざまな背景・専門性を持つ仲間とコミュニケーションを取りながら、その実現に向けて進んでいき、その“プラクティス（練習・実践）”として、学生が参加できるプロジェクトやイベントを企画し提案することを主な内容としています。

当日は、能登町にあるコンセールのとにて、眞智富子能登町教育長による講義「これから chance change charge」がありました。能登半島地震・豪雨からの復興に向けた能登町の現状・取り組み、被災した松波小学校の歩みといった貴重なお話を聴かせていただきました。

午後には、学生が2ヶ月間練り上げてきたプロジェクトの企画発表を行いました。企画発表の講評の後、和田隆志学長による「自ら学び、自ら育む」の講義があり、学生から積極的に質問や発言が飛び交い、充実した時間となりました。

帰りのバスの中では、日本海の絶景を眺めながら、企画発表の振り返りを行いました。今後は、学生が企画したプロジェクトをさらにブラッシュアップし、その実現に向けて活動を続けていきます。



能登町教育長による講義



学生による企画発表



和田学長の講義の様子



集合写真

ご協力いただいた皆様

○能登町

眞智 富子 能登町教育委員会 教育長

○スタッフ（所属・役職等は、実施当時のものです。）

【総責任者・主宰】

和田 隆志 学長

【総括】

滝波 泰 理事（総務・財務・施設担当）・副学長・事務局長
佐藤 智哉 国際日本研究教育センター 准教授
小幡 陽子 学務部学生支援課 課長（調整補助）
中山 秀和 学務部基幹教育支援 課長（調整補助）

【担当】

山下 貴弘 融合研究域融合科学系 助教
中貝 壮太 総務部 学術情報課 図書情報係 図書職員
高田 進之介 財務部 財務企画課 財務総括係 一般職員
原 陸人 施設部 施設管理課 機械係 技術職員
入口 康彦 研究推進部 研究支援課 専門職員
芝田 裕之 社会共創推進部 産学連携支援課長
岡崎 桃子 学務部 学務課 教務総括係 一般職員
松田 啓太 学務部 学生支援課 学生相談係 一般職員
河崎 純子 国際部 留学企画課 留学推進担当 主任
大島 智葉 融合系事務部 総務課 会計係 一般職員
松本 瑠美香 人間社会系事務部 学生課 教務・学生支援担当 一般職員
梅田 真子 理工系事務部 総務課 人事係 一般職員
宇波 丈太郎 財務部 財務管理課 調達管理係 一般職員
江端 恵里奈 病院部 経営管理課 予算企画係 一般職員

【自動車運転】

渡邊 直規 総務部総務課 自動車運転士



【問合せ先】金沢大学学務部学生支援課

〒920-1192 石川県金沢市角間町

h_resilience@adm.kanazawa-u.ac.jp

令和8（2026）年6月 発行：金沢大学 編集：金沢大学学務部

無断転載・複製を禁じます。